

先生 「また雪が降るかもしれないんだって！」

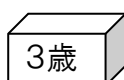
子どもたち 「イエーイ！」

イエーイってまだ雪いっぱい残ってるやん。ちっとも溶けてないやん。あるやん。そうか、やっぱりイエーイなんだ。そうだよな、イエーイ、かな。

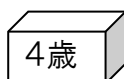
予定には想定外を入れておかねばなりませんね。うー、特に年長ゆうえんちにとってかなりトド凍る、いや滞る要因になっていまして、雪の追い打ちをかけられたら・・・考えただけでブルブルです。

とはいえ、さくひんてんは必ずやってきます。子どもたちの作品にはいつもいろいろなことに気付かされます。ご覧いただくにあたり、作品の見かたや視点を少し変えてみるだけでずいぶん違って見えるものだと頭の中に付け加えていただけるとありがたいです。ぱっと見て目を引くものもありますが、例えば自分の子どもの作品をもう一度まじまじと見てみると、絵にしても制作物にしても、その中でこだわった部分が必ずあります。それを探してみたり、自分だったらここはこの色にするけど、我が子はこの色にしたのかー、ここはこんな風にしたんだなー、などと彼らの制作中の頭の中を想像しながらご覧いただきたいと思います。我が子の新発見の可能性は大です。そして、自分の考えやイメージと、我が子の考えやイメージの違いを知ることは、自分の子だけど自分とは違うひとりの「個」であることに改めて気付かされるのではないかと思います。また、家に帰ってからも、お父さんお母さんの気付いたその部分を、これのこの部分、というかたちで具体的に褒めてあげていただけたら幸いです。子どもたちにとっても、褒められた部分は改めて脳裏に焼き付くでしょうし自信にもつながっていくのではないのでしょうか。もちろん、お父さんお母さんのいいところはそのままに。

今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）



- ・ 身の回りのことを自分でしようとする
- ・ 仲間と一緒に生活する楽しさがわかって、よろこんで活動に参加する
- ・ “こうしたい”という子どもたちの思い描いたものやこだわりを生かしながら、作る楽しさを体験する



- ・ 集団での役割あそびのおもしろさがわかり、進んで遊びに入っていける
- ・ 自分たちの問題は、仲間と一緒に解決していこうとする芽を育てる
- ・ クラスのみんなとのつながりを感じ、その中にいる自分をうれしいと思う



- ・ 目標に向けて力を出しきり、やり遂げる喜びを味わい、友達とのかかわりの中で自信を感じられるようにする
- ・ 一人ひとりが得意な分野で実力を最大限に発揮でき、互いにそれを認め合える
- ・ 相手の意見を認め合いながら、みんなで1つの結論が出せる